

令和7年度（2025年度）

熊本県登録販売者試験

《 午 後 の 部 》

＜注意事項＞ ～指示があるまで開いてはいけません～

- 1 試験問題の数は、問61から問120までの60問。
午後2時から午後4時までの120分以内で解答すること。
- 2 解答は、すべて解答用紙（マークシート用紙）に記入すること。
- 3 解答は鉛筆又はシャープペンシルを使用し、はっきりと記入すること。塗りつぶしが薄い場合は、解答したことにならないので注意すること。
例えば、問10と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の【例】のように問題番号問10の解答欄の③にマークすること。

【例】

問	解 答 欄
1 0	① ② ● ④ ⑤

- 4 解答を修正する場合は、消しゴムで跡が起こらないよう完全に消すこと。跡が残ったりした場合、修正又は解答したことにならないので注意すること。
- 5 解答用紙（マークシート用紙）は折り曲げたり汚したりしないよう、特に注意すること。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。

熊 本 県

【主な医薬品とその作用】

※以下の設問中、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」を「医薬品医療機器等法」と表記する。

※以下の設問中、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」を「医薬品医療機器等法施行規則」と表記する。

問6 1

かぜの諸症状及びかぜ薬の働きに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 「かぜ」は、医学的にはかぜ症候群といい、主に細菌感染による上気道の急性炎症の総称で、通常は数日～1週間程度で自然寛解し、予後は良好である。

イ 急激な発熱を伴う場合や、症状が4日以上続くとき、又は症状が重篤なときは、かぜではない可能性が高い。

ウ 冬場に発熱や頭痛を伴って悪心・嘔吐^{おう}や、下痢等の消化器症状が現れた場合はかぜではなく、ウイルスが消化器に感染したことによるウイルス性胃腸炎である場合が多い。

エ 一般用医薬品のかぜ薬の多くは原因となるウイルスの増殖を抑えたり、ウイルスを体内から除去したりする作用を有するため、成分や作用が重複したかぜ薬を服用しないよう注意が必要である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問6 2

かぜ薬の配合成分とその配合目的との関係について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

	成分	配合目的
ア	チペピジンヒベンズ酸塩	－ くしゃみや鼻汁を抑える
イ	メチルエフェドリン塩酸塩	－ 鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を拡張する
ウ	ブロモバレリル尿素	－ 炎症による腫れを和らげる
エ	グアヤコールスルホン酸カリウム	－ ^{たん} 痰の切れを良くする

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問63

次の表は、ある解熱鎮痛薬に含まれている成分の一覧である。

1錠中	
成分	分量
エテンザミド	200 mg
アセトアミノフェン	80 mg
アリルイソプロピルアセチル尿素	30 mg
無水カフェイン	40 mg

この解熱鎮痛薬の成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア アセトアミノフェン、カフェイン、エテンザミドの組合せは、それぞれの頭文字から「ACE処方」と呼ばれ、作用の仕組みの違いによる相乗効果を期待して配合される。
- イ アセトアミノフェンは、主として中枢作用によって解熱・鎮痛をもたらすため、末梢における抗炎症作用は期待できない。
- ウ アリルイソプロピルアセチル尿素は、ブロモバレリル尿素とは異なり、依存性がないのが特徴である。
- エ 無水カフェインは、解熱鎮痛成分の鎮痛作用を増強する効果が期待されることに加え、中枢神経系を刺激して頭をすっきりさせたり、疲労感・倦怠感^{けん}を和らげたりする。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問64

かぜの症状緩和に用いられる漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 麻黄湯^{まおうとう}は、体力充実して、かぜのひきはじめて、寒気がして発熱、頭痛があり、咳^{せき}が出て身体
のふしぶしが痛く汗が出ていないものの感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまりに適すとされるが、胃
腸の弱い人には不向きとされる。
- イ 小柴胡湯^{しょうさいこうとう}は、体力中等度で、ときに脇腹（腹）からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不
振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの食欲不振、吐きけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、
かぜの後期の諸症状に適すとされる。
- ウ 小青竜湯^{しょうせいりゅうとう}は、体力中等度又はやや虚弱で、多くは腹痛を伴い、ときに微熱・寒気・頭痛・
吐きけなどのあるものの胃腸炎、かぜの中期から後期の症状に適すとされるが、胃腸の弱い人、発
汗傾向の著しい人では副作用が現れやすい等、不向きとされる。
- エ 桂枝湯^{けいしとう}は、体力虚弱で、神経過敏で気分がすぐれず胃腸の弱いもののかぜの初期、血の道症
（月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモン変動に伴って現れる精神不安やいらだちな
どの精神神経症状及び身体症状）に適すとされる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【主な医薬品とその作用】

問65

プロスタグランジンに関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 プロスタグランジンは、ホルモンに似た働きをする物質で、体の各部位で発生した痛みが脳へ伝わる際に、そのシグナルを増幅することで痛みの感覚を強めている。
- 2 プロスタグランジンは、脳の下部にある体温を調節する部位（温熱中枢）に作用して、体温を通常よりも高く維持し、ウイルスの増殖を抑えたり、免疫機構の働きを高めたりする。
- 3 月経痛（生理痛）は、月経そのものが起こる過程にプロスタグランジンが関わっていることから、解熱鎮痛薬の効能・効果に含まれているが、腹痛を含む^{けいれん}痙攣性の内臓痛は発生の仕組みが異なるため、一部の漢方処方製剤を除き、解熱鎮痛薬の効果は期待できない。
- 4 プロスタグランジンの胃酸分泌調節作用や胃腸粘膜保護作用が、解熱鎮痛成分によって妨げられると、胃酸分泌が増加するとともに胃壁の血流量が増加して、胃粘膜障害を起こしやすくなる。

問66

解熱鎮痛薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア サリチルアミドは、ライ症候群の発生の可能性が示唆されているため、水痘（^{とう}水疱^{ぼうそう}瘡）やインフルエンザにかかっている15歳未満の小児に対しては使用を避ける必要がある。
- イ アスピリンは、血液を凝固しにくくさせる作用があるため、胎児への影響や、妊娠期間の延長、子宮収縮の抑制、分娩時出血の増加等の母体への影響を考慮して、出産予定日16週間以内の使用を避ける。
- ウ イソプロピルアンチピリンは、現在、一般用医薬品で唯一のピリン系解熱鎮痛成分となっており、ピリン系解熱鎮痛成分によって^{しん}薬疹（^{しん}ピリン疹）等のアレルギー症状を起こしたことがある人は使用しない。
- エ ジリュウは、ツヅラフジ科のオオツヅラフジの^{つる}蔓性の茎及び根茎を、通例、横切したものを基原とする生薬で、鎮痛、尿量増加（利尿）等の作用を期待して用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問67

眠気を促す薬及びその配合成分等に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬は、慢性的に不眠症状がある人や、医療機関において不眠症の診断を受けている人を対象とするものではない。

イ チョウトウコウは、クロウメモドキ科のサネブトナツメの種子を基原とする生薬で、神経の興奮・緊張緩和を期待して用いられる。

ウ 抑肝散加陳皮半夏よくかんさんかちんぴはんげは、体力中等度をめやすとして、やや消化器が弱く、神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの神経症、不眠症、小児夜なき、小児瘡症かん（神経過敏）、更年期障害、血の道症、歯ぎしりに適すとされる。

エ 酸棗仁湯さんそうにんとうは、体力中等度以下で、心身が疲れ、精神不安、不眠などがあるものの不眠症、神経症に適すとされ、下痢又は下痢傾向のある人にも向いている。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問68

鎮^{うん}暈薬（乗物酔い防止薬）に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ジメンヒドリナートは、胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげ、乗物酔いに伴う吐きけを抑えることを目的で用いられる。
- イ プロメタジン塩酸塩等のプロメタジンを含む成分については、外国において、乳児突然死症候群や乳児睡眠時無呼吸発作のような致命的な呼吸抑制を生じたとの報告があるため、15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。
- ウ スコポラミン臭化水素酸塩水和物は、乗物酔い防止に古くから用いられている抗コリン成分で、消化管からよく吸収され、肝臓で速やかに代謝される。
- エ 3歳未満では、乗物酔いが起こることはほとんどないとされており、乗物酔い防止薬に3歳未満の乳幼児向けの製品はない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

問69

以下の記述にあてはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

体力中等度以上で、精神不安があつて、動悸^き、不眠、便秘などを伴う高血圧の随伴症状（動悸^き、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜なき、便秘に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱く下痢しやすい人、瀉^{しゃ}下薬（下剤）を服用している人では、腹痛、激しい腹痛を伴う下痢の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

- 1 ^{さいこかりゅうこつぽれいとう}柴胡加竜骨牡蛎湯
- 2 ^{けいしかりゅうこつぽれいとう}桂枝加竜骨牡蛎湯
- 3 ^{かみきひとう}加味帰脾湯
- 4 ^{よくかんさん}抑肝散
- 5 ^{しょうけんちゅうとう}小建中湯

【主な医薬品とその作用】

問 7 0

鎮咳去痰薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア グアイフェネシンは、延髄の咳嗽中枢に作用して、咳を抑える。
- イ トリメトキノール塩酸塩水和物は、自律神経系を介さずに気管支の平滑筋に直接作用して弛緩させる。
- ウ ブロムヘキシン塩酸塩は、抗炎症作用を有し、気道の炎症を和らげる。
- エ カルボシステインは、痰の中の粘性タンパク質を溶解・低分子化して粘性を減少させるとともに、粘液成分の含量比を調整することにより、痰の切れを良くする。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 7 1

鎮咳去痰薬に配合される生薬成分及び漢方処方製剤に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- セネガは、ヒメハギ科のセネガ又はヒロハセネガの根を基原とする生薬で、去痰作用を期待して用いられるが、糖尿病の検査値に影響を生じることがある。
- セキサンは、ヒガンバナ科のヒガンバナ鱗茎を基原とする生薬で、去痰作用を期待して用いられる。
- 神秘湯は、体力中等度で、咳、喘鳴、息苦しさがあり、痰が少ないものの小児喘息、気管支喘息、気管支炎に適すとされるが、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人には不向きとされる。
- 半夏厚朴湯は、体力中等度以下で、痰が切れにくく、ときに強く咳こみ、又は咽頭の乾燥感があるもののから咳、気管支炎、気管支喘息、咽頭炎、しわがれ声に適すとされるが、水様痰の多い人には不向きとされる。

【主な医薬品とその作用】

問 7 2

口腔咽喉薬・うがい薬（含嗽薬）及びその配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア トローチ剤は、有効成分が口腔内や咽頭部に速やかに行き渡るよう、噛み砕いて飲み込むことが重要である。

イ アズレンスルホン酸ナトリウムは、口腔内や喉に付着した細菌等の微生物を死滅させたり、その増殖を抑えたりすることを目的として用いられる。

ウ ヨウ素系殺菌消毒成分が口腔内に使用される場合、結果的にヨウ素の摂取につながり、甲状腺におけるホルモン産生に影響を及ぼす可能性がある。

エ 桔梗湯は、体力に関わらず使用でき、喉が腫れて痛み、ときに咳がでるものの扁桃炎、扁桃周囲炎に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では、食欲不振、胃部不快感等の副作用が現れやすく、不向きとされる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 3

次の表は、ある胃腸薬に含まれている成分の一覧である。

3 包（1 日量）中	
成分	分量
ピレンゼピン塩酸塩水和物	47.1 mg
（ピレンゼピン塩酸塩無水物として）	45 mg)
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	900 mg
炭酸水素ナトリウム	1,200 mg
ビオジアスターゼ	30 mg

この胃腸薬の成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ピレンゼピン塩酸塩は、排尿困難の症状がある人、緑内障の診断を受けた人では、症状の悪化を招くおそれがある。
- イ メタケイ酸アルミン酸マグネシウムは、胃酸の中和作用のほか、胃粘膜にゼラチン状の皮膜を形成して保護する作用がある。
- ウ 炭酸水素ナトリウムは、腎臓病の診断を受けた人が服用した場合、ナトリウムの排泄^{せつ}が遅れたり、体内に貯留したりしやすくなる。
- エ ビオジアスターゼは、味覚や嗅覚を刺激して反射的な唾液や胃液の分泌を促すことにより、弱った胃の働きを高めることを目的としている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 7 4

止瀉薬^{しゃ}の配合成分に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 タンニン酸アルブミンに含まれるアルブミンは、牛乳に含まれるタンパク質（カゼイン）から精製された成分であるため、牛乳にアレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- 2 ロペラミド塩酸塩が配合された止瀉薬^{しゃ}は、食あたりや水あたりによる下痢については適用対象でない。
- 3 タンニン酸ベルベリンは、抗菌作用を持つタンニン酸と収斂^{れん}作用を持つベルベリンの化合物であり、消化管内ではタンニン酸とベルベリンに分かれて、それぞれ止瀉^{しゃ}に働くことを期待して用いられる。
- 4 リン酸水素カルシウムは、腸管内の異常発酵等によって生じた有害な物質を吸着させることを目的として配合されている。

問 7 5

瀉下薬^{しゃ}及びその配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ヒマシ油は、防虫剤や殺鼠剤^そを誤って飲み込んだ場合のような脂溶性の物質による中毒に使用される。
- イ センノシドは、胃や小腸で消化され、大腸に生息する腸内細菌によって分解され、分解生成物が大腸を刺激して瀉下作用^{しゃ}をもたらすと考えられている。
- ウ ピコスルファートナトリウムは、小腸で分解されて、小腸への刺激作用を示す。
- エ 麻子仁丸^{ましにんがん}は、体力中等度以下で、腹部膨満感のあるもののしづり腹（残便感があり、繰り返し腹痛を伴い便意を催すもの。）、腹痛、下痢、便秘に適すとされる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【主な医薬品とその作用】

問 7 6

胃腸鎮痛鎮痙薬の配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア ブチルスコポラミン臭化物は、散瞳による目のかすみや異常な眩しさの副作用が現れることがある。

イ パパベリン塩酸塩は、消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣を鎮める作用を示すとされ、胃液分泌を抑える作用は見出されない。

ウ オキシサゼインは、局所麻酔作用及び胃液分泌を抑える作用を持ち、妊婦又は妊娠していると思われる女性、65歳以上の高齢者では、使用を避けることとされている。

エ エンゴサクは、ユリ科の *Smilax glabra* Roxburgh の塊茎を、通例、湯通ししたものを基原とする生薬であり、鎮痛鎮痙作用を期待して配合される。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 7 7

駆虫薬に関する以下の記述について、() の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

(ア) は、(イ) 伝達を妨げて、回虫及び蟯虫の運動筋を麻痺させる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

パモ酸ピルビニウムは、蟯虫の呼吸や栄養分の代謝を抑えて殺虫作用を示すとされている。空腹時に服用することとなっていないが、(ウ) の多い食事は避けるべきである。

	ア	イ	ウ
1	ピペラジンリン酸塩	アセチルコリン	脂質分
2	ピペラジンリン酸塩	アセチルコリン	繊維質
3	ピペラジンリン酸塩	アドレナリン	脂質分
4	サントニン	アセチルコリン	脂質分
5	サントニン	アドレナリン	繊維質

【主な医薬品とその作用】

問 7 8

強心薬及びその配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア センソは、ヒキガエル科のアジアヒキガエル等の耳腺の分泌物を集めたものを基原とする生薬で、微量で強い強心作用を示し、センソが配合された内服固形製剤は、口中で噛み砕いて服用することとされている。

イ ゴオウは、ウシ科のウシの胆嚢^{のう}中に生じた結石を基原とする生薬で、強心作用のほか、末梢血管の収縮による血圧上昇作用がある。

ウ 苓桂朮甘湯^{りょうけいじゆつかんとう}は、強心作用が期待される生薬は含まれず、主に利尿作用により、水毒（漢方の考え方で、体の水分が停滞したり偏在したりして、その循環が悪いことを意味する。）の排出を促すことを主眼とする。

エ シンジュは、ウグイスガイ科のアコヤガイ、シンジュガイ又はクロチョウガイ等の外套膜組成^{とう}中に病的に形成された顆粒状物質を基原とする生薬で、鎮静作用等を期待して用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

問 7 9

高コレステロール改善薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ソイステロールは、腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。
- 2 パンテチンは、コレステロールと結合して、代謝されやすいコレステロールエステルを形成するとされ、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待して用いられる。
- 3 リボフラビン酪酸エステルは、コレステロールの生合成抑制と排泄^{せつ}・異化促進作用、中性脂肪抑制作用、過酸化脂質分解作用を有すると言われている。
- 4 トコフェロール酪酸エステルは、コレステロールからの過酸化脂質の生成を抑えるほか、末梢血管における血行を促進する作用があるとされ、血中コレステロール異常に伴う末梢血行障害（手足の冷え、痺^{しび}れ）の緩和を目的として用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問80

外用痔疾用薬及びその配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア プロカイン塩酸塩は、皮膚や粘膜などの局所に適用されると、その周辺の知覚神経に作用して刺激の神経伝導を可逆的に遮断する作用を示す。

イ アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネートは、痔による肛門部の炎症や痒みを和らげる成分である。

ウ タンニン酸は、粘膜表面に不溶性の膜を形成することによる、粘膜の保護・止血を目的として、配合されている。

エ クロタミトンは、局所に冷感刺激を生じさせ、痒みを抑える効果を期待して配合されている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

桃核承気湯とうかくじょうきとうに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 体力虚弱で、冷え症で皮膚が乾燥、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの月経不順、月経異常、産後あるいは流産後の疲労回復に適すとされる。
- イ 構成生薬としてカンゾウを含んでいるため、大量に摂取するとグリチルリチン酸の大量摂取につながり、偽アルドステロン症を引き起こすおそれがある。
- ウ 便秘に用いられる場合を除き、比較的長期間（1ヶ月位）使用することによって効果が得られるとされる。
- エ 構成生薬としてダイオウを含んでいるため、母乳を与える女性では使用を避けるか、又は使用期間中の授乳を避ける必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

問 8 2

以下の記述にあてはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの、月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎しん、にきびに適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）では不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 ごしゃくさん 五積散
- 2 けいしぶくりょうがん 桂枝茯苓丸
- 3 さいこけいしかんきょうとう 柴胡桂枝乾姜湯
- 4 しょうふうさん 消風散
- 5 かつこんとうかせんきゅうしんい 葛根湯加川芎辛夷

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

内服アレルギー用薬及びその配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア プソイドエフェドリン塩酸塩が配合された鼻炎用内服薬を使用する人が、モノアミン酸化酵素阻害剤を処方されて治療を受けている場合、体内でのプソイドエフェドリンの代謝が妨げられて、副作用が現れやすくなる。

イ ヨウ化イソプロパミドは、皮膚や鼻粘膜の炎症を和らげることを目的として用いられる。

ウ サイシンは、ウマノスズクサ科のケイリンサイシン又はウスバサイシンの根及び根茎を基原とする生薬で、鼻閉への効果を期待して用いられる。

エ ベラドンナは、ナス科の草本で、葉や根には、交感神経系から放出されるアセチルコリンの働きを抑える作用を示すアルカロイドを含む。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 8 4

以下の内服アレルギー用薬のうち、構成生薬としてカンゾウを含まない漢方処方製剤として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 いんちんこうとう
茵陳蒿湯
- 2 じゅうみはいどくとう
十味敗毒湯
- 3 とうきいんし
当帰飲子
- 4 けいがいれんぎょうとう
荊芥連翹湯
- 5 しょうせいりゅうとう
小青竜湯

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

アレルギー及びアレルギー用薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 皮膚感染症（たむし、疥癬^{かいせん}等）により、湿疹^{しん}やかぶれに似た症状が現れた場合は、アレルギー用薬により一時的に痒み^{かゆ}等の緩和を図ることは適当ではなく、皮膚感染症そのものに対する対処を優先する必要がある。

イ 鼻炎用内服薬と鼻炎用点鼻薬は、同じ成分又は同種の作用を有する成分が重複することはないため、相互に影響し合うことはない。

ウ アレルゲンが皮膚や粘膜から体内に入り込むと、その物質を特異的に認識した免疫グロブリンにより、身体中の血管周囲、特に皮膚・皮下組織、肺、消化管、肝臓に存在し、免疫機構の一端を担う肥満細胞が刺激される。

エ 蕁麻疹^{じん しん}は、アレルゲンとの接触以外に、食品が傷むと生成することがあるヒスタミンやヒスタミンに類似した物質を摂取することで生じるものもある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【主な医薬品とその作用】

問 8 6

次の表は、ある点鼻薬に含まれている成分の一覧である。

100mL 中	
成分	分量
ナファゾリン塩酸塩	50 mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	500 mg
リドカイン	500 mg
グリチルリチン酸二カリウム	300 mg
ベンザルコニウム塩化物	20 mg

この点鼻薬の成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ナファゾリン塩酸塩は、局所麻酔成分であり、鼻粘膜の過敏性や痛みや痒^{かゆ}みを抑えることを目的として配合されている。
- イ クロルフェニラミンマレイン酸塩は、肥満細胞からヒスタミンの遊離を抑える作用を示し、鼻アレルギー症状の緩和を目的として、通常、抗ヒスタミン成分と組み合わせて配合されている。
- ウ グリチルリチン酸二カリウムは、アドレナリン作動成分であり、交感神経系を刺激して血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的として配合されている。
- エ ベンザルコニウム塩化物は、鼻粘膜を清潔に保ち、細菌による二次感染を防止することを目的として配合されている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

眼科用薬の配合成分とその目的とする作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

	配合成分	目的とする作用
ア	プラノプロフェン	－ 目の炎症を改善する
イ	パンテノール	－ 目の調節機能の回復を促す
ウ	スルファメトキサゾール	－ 角膜の乾燥を防ぐ
エ	アラントイン	－ 結膜を通っている血管を収縮させて目の充血を除去する

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 8 8

皮膚に用いる薬の殺菌消毒成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ヨウ素の殺菌力は、結核菌に対して効果があるが、アルカリ性になるとその殺菌力は低下することが知られている。
- イ アクリノールは、黄色の色素で、一般細菌類、真菌及びウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。
- ウ イソプロピルメチルフェノールは、細菌や真菌類のタンパク質を変性させることにより殺菌消毒作用を示す。
- エ クロルヘキシジングルコン酸塩は、一般細菌類及び真菌類に対して殺菌消毒作用を示すが、結核菌やウイルスに対する殺菌消毒作用はない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【主な医薬品とその作用】

問 8 9

外用薬として用いられる非ステロイド性抗炎症成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ピロキシカムは、細胞膜の安定化、活性酸素の生成抑制などの作用により、抗炎症作用を示す。
イ イブプロフェンピコノールは、吹き出物（面皰^{ほう}）の拡張を抑える作用があるとされているが、外用での鎮痛作用はほとんど期待されない。
ウ サリチル酸グリコールは、局所刺激により患部の血行を促し、また、末梢の知覚神経に軽い麻痺^ひを起こすことにより、鎮痛作用をもたらす。
エ インドメタシンは、殺菌作用があるため、皮膚感染症に対しても効果を示す。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 9 0

皮膚に用いる薬に配合される抗菌成分及び抗真菌成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア バシトラシンは、細菌の細胞壁合成を阻害することにより抗菌作用を示す。
イ テルビナフィン塩酸塩は、患部を酸性にすることで、皮膚糸状菌の発育を抑える。
ウ フラジオマイシン硫酸塩は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げることにより、その増殖を抑える。
エ シクロピロクスオラミンは、細菌のDNA合成を阻害することにより抗菌作用を示す。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問9 1

毛髪用薬の配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア カシュウは、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。
イ カルプロニウム塩化物は、頭皮における抗菌、抗炎症作用を期待して用いられる。
ウ チクセツニンジン^{のう}は、血行促進、抗炎症作用を期待して用いられる。
エ エストラジオール安息香酸エステルは、頭皮の血管を拡張し、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問9 2

歯槽膿漏^{のう}薬に配合される成分とその目的とする作用に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

	配合成分	目的とする作用
ア	カルバゾクロム	ー 歯周組織の血行を促す
イ	フィトナジオン	ー 血液の凝固機能を正常に保つ
ウ	銅クロロフィリンナトリウム	ー 炎症を起こした歯周組織の修復を促す
エ	グリチルリチン酸二カリウム	ー 歯肉溝での細菌の繁殖を抑える

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 9 3

禁煙補助剤（咀^{そしゃく}嚼^{くわく}剤）に関する以下の記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

タバコの煙に含まれるニコチンは、肺胞の毛細血管から血液中に取り込まれると、すみやかに脳内に到達し、脳の情動を司る部位に働いて（ ア ）、リラックス効果などをもたらす。

また、ニコチンは（ イ ）を興奮させる作用を示し、アドレナリン作動成分が配合された医薬品との併用により、その作用を増強させるおそれがある。

口腔^{くわう}内が（ ウ ）になるとニコチンの吸収が低下するため、咀^{そしゃく}嚼^{くわく}剤の禁煙補助剤を使用する際には注意が必要である。

	ア	イ	ウ
1	催眠	交感神経系	酸性
2	催眠	副交感神経系	酸性
3	催眠	副交感神経系	アルカリ性
4	覚醒	交感神経系	酸性
5	覚醒	副交感神経系	アルカリ性

問 9 4

滋養強壮保健薬の配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 レチノールパルミチン酸エステルは、髪や爪、肌などに存在するアミノ酸の一種で、皮膚におけるメラニンの生成を抑えるとともに、皮膚の新陳代謝を活発にしてメラニンの排出を促す働きがあるとされる。
- 2 グルクロノラクトンは、生体におけるエネルギーの産生効率を高めるとされ、骨格筋に溜まった乳酸の分解を促す等の働きを期待して用いられる。
- 3 アミノエチルスルホン酸は、肝臓機能を改善する働きがあるとされる。
- 4 ヘスペリジンは、米油及び米胚芽油から見出された抗酸化作用を示す成分で、ビタミンEと組み合わせて配合されている場合がある。

【主な医薬品とその作用】

問 9 5

次の表は、ある滋養強壮保健薬に含まれている成分の一覧である。

2錠中		
	成分	分量
	リボフラビン	30 mg
	ピリドキサルリン酸エステル水和物	60 mg
	アスコルビン酸	80 mg
	ニコチン酸アミド	40 mg
	ビオチン	0.2 mg
	L-システイン	60 mg
	ヨクイニンエキス	105 mg

この滋養強壮保健薬及びその成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア ピリドキサルリン酸エステル水和物は、ビタミンB6として、タンパク質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の健康を維持する。

イ ビタミンB12が含まれている。

ウ 服用により、尿が黄色くなることがある。

エ アスコルビン酸は、腸管でのカルシウム吸収及び尿細管でのカルシウム再吸収を促して、骨の形成を助ける。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問96

生薬成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア シンイは、モクレン科のハクモクレン、タムシバ又はコブシの^{つぼみ}蕾を基原とする生薬で、鎮静、鎮痛の作用を期待して用いられる。
- イ サンザシは、バラ科のサンザシ又はオオミサンザシの偽果をそのまま、又は縦切若しくは横切したものを基原とする生薬で、健胃、消化促進等の作用を期待して用いられる。
- ウ ジオウは、ゴマノハグサ科のアカヤジオウ等の根又はそれを蒸したものを基原とする生薬で、血行を改善し、冷えの症状を緩和する作用を期待して用いられる。
- エ カッコンは、マメ科のクズの周皮を除いた根を基原とする生薬で、解熱、鎮^{けい}痙等の作用を期待して用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問97

消毒薬及びその配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア トリクロロイソシアヌル酸は、金属腐食性が比較的抑えられているため、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。
- イ サラシ粉は、強い酸化力により一般細菌類及び真菌類に対して強い殺菌消毒作用を示すが、ウイルスに対する不活性効果はない。
- ウ 消毒薬によっては、殺菌消毒効果が十分得られない微生物が存在するばかりか、生息条件が整えば消毒薬の溶液中で生存、増殖する微生物も存在する。
- エ イソプロパノールは、ウイルスに対する不活性効果がエタノールよりも高い。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問98

衛生害虫及び殺虫剤・忌避剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア ディートを含有する忌避剤（医薬品及び医薬部外品）は、生後6ヶ月未満の乳児については、顔面への使用を避け、1日の使用限度（1日1回）を守って使用する必要がある。

イ ハエの幼虫（ウジ）の防除の目的に、有機リン系殺虫成分が配合された殺虫剤を使用することは有効である。

ウ カーバメイト系殺虫成分であるプロポクスルは、アセチルコリンエステラーゼと不可逆的に結合し、その働きを阻害することにより殺虫作用を示す。

エ ヒョウヒダニ類は、ヒトを刺すことはないが、ダニの糞^{ふん}や死骸がアレルギー^{ぜん}となって気管支喘息やアトピー性皮膚炎などを引き起こすことがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問99

以下の記述にあてはまる殺虫成分として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

除虫菊の成分から開発された成分で、比較的速やかに自然分解して残効性が低いため、家庭用殺虫剤に広く用いられている。

この殺虫成分の殺虫作用は、神経細胞に直接作用して神経伝達を阻害することによるものであり、高濃度又は多量に曝露^{ばく}して身体に異常が現れた場合には、医師の診療を受けるなどの対応が必要である。

- 1 メトプレン
- 2 オルトジクロロベンゼン
- 3 ダイアジノン
- 4 メトキサジアゾン
- 5 フェノトリン

【主な医薬品とその作用】

問 1 0 0

一般用検査薬及びその検体に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選
びなさい。

ア 一般用検査薬の検査に用いる検体は、採取に際して侵襲のないものが原則であるが、自己血糖測
定においては、必要量が微量であるため、穿刺血が検体として認められている。

イ 一般用検査薬の販売時には、薬剤師や登録販売者により、使い方や保管上の注意についてわかり
易く説明することが求められている。

ウ 妊娠検査薬は、尿中のヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）の有無を調べるものであり、そ
の結果をもって直ちに妊娠しているか否かを断定することが可能である。

エ 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で中性～弱酸性に傾くと、尿糖・尿タンパ
ク検査薬の正確な検査結果が得られなくなることがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 1

医薬品医療機器等法の目的等に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 保健衛生の向上を図ることを目的として、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の品質、有効性及び安全性の確保並びにこれらの使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止のために必要な規制を行うことが規定されている。
- イ 保健衛生の向上を図ることを目的として、指定薬物の規制に関する措置を講ずることが規定されている。
- ウ 薬局開設者、店舗販売業者又は配置販売業者は、その薬局、店舗又は区域において業務に従事する登録販売者に対し、厚生労働大臣に届出を行った者（研修実施機関）が行う研修を毎年度受講させなければならないこととされている。
- エ 国民の役割として、「国民は、医薬品等を適正に使用するとともに、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるよう努めなければならない。」とされており、登録販売者は購入者が求める知識、理解に応えることが求められる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問 1 0 2

登録販売者に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 都道府県知事が行う登録販売者試験の受験に当たり、受験資格から実務経験に係る要件が撤廃されたものの、試験合格後、販売従事登録をしようとする場合、実務経験が必要である。
- イ 販売従事登録後、婚姻等で本籍地が同一都道府県内で変更になった場合、登録販売者名簿の変更届の提出は不要である。
- ウ 登録販売者試験に合格した者は、複数の都道府県で販売従事登録を受けることができる。
- エ 販売従事登録を受けた者には、都道府県知事から販売従事登録証が交付される。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 3

医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 日本薬局方とは、厚生労働大臣が医薬品の性状及び品質の適正を図るため、薬事審議会の意見を聴いて、保健医療上重要な医薬品について、必要な規格・基準及び標準的試験法等を定めたものである。
- イ 日本薬局方に収載されている医薬品には、一般用医薬品として販売されているものや一般用医薬品の中に配合されているものはない。
- ウ 医薬品は、人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされている物であり、機械器具も医薬品に含まれる。
- エ 薬局及び医薬品の販売業者は、着色のみを目的として、厚生労働省令で定めるタール色素以外のタール色素が使用されている医薬品を販売してはならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 4

医薬品の定義と範囲に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 医薬品医療機器等法第4条第5項第4号において、要指導医薬品は一般用医薬品に含まれると定義される。
- イ 卸売販売業者は、店舗販売業者に対し、一般用医薬品及び要指導医薬品以外の医薬品を、配置販売業者に対し、一般用医薬品以外の医薬品を販売又は授与してはならないこととされている。
- ウ 医療用医薬品は、医師又は歯科医師が患者の容態に合わせて処方量を決めるが、一般用医薬品は、あらかじめ定められた用量に基づき、適正使用することによって効果を期待するものである。
- エ 要指導医薬品は、医師等の診療によらなければ一般に治癒が期待できない疾患（例えば、がん、心臓病等）に対する効能効果を示すことが認められている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 5

毒薬及び劇薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 毒薬及び劇薬は、単に毒性、劇性が強いものだけでなく、薬効が期待される摂取量（薬用量）と中毒のおそれがある摂取量（中毒量）が接近しており安全域が狭いため、その取扱いに注意を要するもの等が指定される。
- イ 業務上毒薬又は劇薬を取り扱う者は、それらを他の物と区別して貯蔵、陳列しなければならない。特に毒薬を貯蔵、陳列する場所については、かぎを施さなければならない。
- ウ 毒薬については、それを収める直接の容器又は被包に、白地に黒枠、黒字をもって、当該医薬品の品名及び「毒」の文字が記載されていなければならない。
- エ 現在のところ、毒薬又は劇薬として指定された要指導医薬品はない。

- 1（ア、イ） 2（ア、ウ） 3（イ、エ） 4（ウ、エ）

問 1 0 6

以下のうち、一般用医薬品の直接の容器又は被包に記載されていなければならない法定表示事項として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 製造販売業者の氏名又は名称及び住所
- 2 製造番号又は製造記号
- 3 効能又は効果
- 4 適切な保存条件の下で3年を超えて性状及び品質が安定でない医薬品等、厚生労働大臣の指定する医薬品における使用の期限
- 5 配置販売品目以外の一般用医薬品にあっては、「店舗専用」の文字

【薬事関係法規・制度】

問 107

医薬部外品の効能効果の範囲と認められているものに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 整腸
- イ あせも、ただれの緩和・防止
- ウ 育毛
- エ 家具・器具・物品等の消毒・殺菌

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

問 108

化粧品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌^{ぼう}を変え、又は皮膚若しくは毛髪を健やかに保つために、身体に塗擦、散布その他これらに類似する方法で使用されることが目的とされている物で、人体に対する作用が緩和なものである。
- イ 化粧品の成分本質（原材料）について、原則として医薬品の成分を配合してはならない。
- ウ 化粧品を製造販売する場合には、製造販売業の許可は不要だが、あらかじめ品目ごとの届出等を行う必要がある。
- エ 医薬品的な効能効果の表示・標榜^{ぼう}がなされた場合には、その標榜^{ぼう}内容等によっては医薬品とみなされ、無承認無許可医薬品として取締りの対象となる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 9

保健機能食品等とその内容の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

	食品区分	内容
ア	特定保健用食品	健康増進法（平成14年法律第103号）の規定に基づく許可又は承認を受けて、食生活において特定の保健の目的で摂取をする者に対し、その摂取により当該保健の目的が期待できる旨の表示をする食品である。
イ	栄養機能食品	事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示し、販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたものである。
ウ	機能性表示食品	1日当たりの摂取目安量に含まれる栄養成分の量が、食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）で示される基準に適合しているもの。 栄養成分の機能表示に関しては、消費者庁長官の許可は要さない。
エ	特別用途食品（特定保健用食品を除く。）	乳児、幼児、妊産婦又は病者の発育又は健康の保持若しくは回復の用に供することが適当な旨を医学的・栄養学的表現で記載し、かつ、用途を限定したもので、健康増進法の規定に基づく許可又は承認を受け、「特別の用途に適する旨の表示」をする食品である。

- 1（ア、ウ） 2（ア、エ） 3（イ、ウ） 4（イ、エ）

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 0

栄養成分とその栄養機能表示に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

	栄養成分	栄養機能表示
ア	ナイアシン	皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素である。
イ	銅	赤血球の形成を助ける栄養素である。
ウ	ビタミン B 6	炭水化物からのエネルギー産生を助ける栄養素である。
エ	ビオチン	骨の形成や歯の形成に必要な栄養素である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 1

薬局に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 医薬品医療機器等法において、薬局とは、「薬剤師が販売又は授与の目的で調剤の業務並びに薬剤及び医薬品の適正な使用に必要な情報の提供及び薬学的知見に基づく指導の業務を行う場所（その開設者が併せ行う医薬品の販売業に必要な場所を含む。）」と定義されている。
- イ 薬剤師法（昭和35年法律第146号）により、調剤を実施する薬局は、医療提供施設として位置づけられている。
- ウ 薬局において、登録販売者は、一般用医薬品のうち第二类医薬品又は第三類医薬品に分類されたものの販売等に関しては、購入者等への情報提供や相談対応を行うことができる。
- エ 地域連携薬局とは、医師若しくは歯科医師又は薬剤師が診療又は調剤に従事する他の医療提供施設と連携し、薬剤の適正な使用の確保のために必要な機能を有し、傷病の区分ごとにその所在地の都道府県知事の認定を受けた薬局のことである。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 2

店舗販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 店舗販売業者は、その店舗における店舗管理者の意見を尊重するとともに、法令遵守のために措置を講ずる必要があるときは、当該措置を講じ、かつ、講じた措置の内容（措置を講じない場合は、その旨及びその理由）を記録し、これを適切に保存しなければならない。
- イ 店舗販売業の許可は、6年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。
- ウ 薬剤師が店舗管理者であり、要指導医薬品若しくは第一類医薬品を販売し、若しくは授与する店舗販売業で登録販売者として一定の期間従事した者は、店舗管理者を補佐する薬剤師を置かなくても、要指導医薬品を販売する店舗の管理者になることができる。
- エ 店舗販売業の許可を受けた店舗においては、薬剤師が従事している場合に限り、医薬品をあらかじめ小分けし、販売することが認められている。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 3

配置販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 配置販売業者が、店舗による販売又は授与の方法で医薬品を販売等しようとする場合には、別途、薬局の開設又は店舗販売業の許可を受ける必要がある。
- イ 配置販売業者又はその配置員は、医薬品の配置販売に従事しようとするときは、配置販売業者の氏名及び住所、配置販売に従事する者の氏名及び住所並びに区域及びその期間を、あらかじめ、配置販売に従事しようとする区域の都道府県知事に届け出なければならない。
- ウ 配置販売業者は、一般用医薬品のうち経年変化が起こりにくいこと等の基準（配置販売品目基準（平成 2 1 年厚生労働省告示第 2 6 号））に適合するもの以外の医薬品を販売してはならない。
- エ 都道府県知事は、許可を受けようとする区域において適切に医薬品の配置販売をするために必要な基準（薬局並びに店舗販売業及び配置販売業の業務を行う体制を定める省令（昭和 3 9 年厚生省令第 3 号）第 3 条）が整っていないとき、又は申請者が薬事に関する法令等に違反し一定期間を経過していないときなどには、許可を与えないことができる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 4

薬局における薬剤師不在時間に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。なお、本設問において、「薬剤師不在時間」とは、医薬品医療機器等法施行規則第1条第2項第2号で規定されるものとする。

- ア 薬剤師不在時間とは、開店時間のうち、当該薬局において調剤に従事する薬剤師が当該薬局以外の場所において業務を行うため、やむを得ず、かつ、一時的に当該薬局において薬剤師が不在となる時間のことをいう。
- イ 学校薬剤師の恒常的な業務により薬剤師が不在となる時間は、薬剤師不在時間として認められる。
- ウ 薬剤師不在時間内において、薬局開設者は調剤室の閉鎖に加え、要指導医薬品又は第一類医薬品の陳列区画を閉鎖しなければならない。ただし、鍵をかけた陳列設備にそれらを陳列する場合はこの限りでない。
- エ 薬局開設者は、薬剤師不在時間内に調剤室を閉鎖すれば、調剤に従事する薬剤師が不在のため調剤に応じることができない旨等を当該薬局の見やすい場所に掲示する必要はない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 1 1 5

以下のうち、薬局開設者又は店舗販売業者がインターネットを利用して特定販売を行うことについて広告をするとき、ホームページに見やすく表示しなければならない事項として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 管理者の氏名
- 2 情報提供場所の写真
- 3 営業時間、営業時間外で相談できる時間
- 4 特定販売を行う薬局製造販売医薬品又は一般用医薬品の使用期限
- 5 個人情報の適正な取扱いを確保するための措置

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 6

濫用等のおそれのあるものとして厚生労働大臣が指定する一般用医薬品（以下、「濫用等のおそれのある医薬品」という。）及びその販売に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 当該医薬品を購入しようとする者が、適正な使用のために必要と認められる数量を超えて当該医薬品を購入しようとする場合は、薬局開設者、店舗販売業者又は配置販売業者は、必ずその者の氏名及び住所とその理由を薬剤師又は登録販売者に確認させなければならない。

イ 当該医薬品を購入しようとする者が若年者である場合は、薬局開設者、店舗販売業者又は配置販売業者は、その者の氏名及び年齢を薬剤師又は登録販売者に確認させなければならない。

ウ ブロムヘキシン塩酸塩を有効成分とする総合感冒薬は、濫用等のおそれのある医薬品である。

エ メチルエフェドリンとその水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤は、濫用等のおそれのある医薬品である。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

薬局及び店舗販売業における医薬品の陳列方法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。なお、本設問において、各陳列区画及び設備は、薬局等構造設備規則（昭和 3 6 年厚生省令第 2 号）で規定されるものとする。

- ア 一般用医薬品は、原則リスク区分ごとに陳列する必要があるが、情報提供を行うための設備内に陳列する場合は、その限りでない。
- イ 鍵をかけた陳列設備に第一類医薬品を陳列する場合、第一類医薬品陳列区画の内部に陳列する必要はない。
- ウ 指定第二類医薬品は、情報提供を行うための設備から 7 メートル以内の範囲に陳列しなければならないが、薬剤師が販売する場合は、その限りでない。
- エ 要指導医薬品は、要指導医薬品陳列区画の内部の陳列設備、鍵をかけた陳列設備、又は要指導医薬品を購入しようとする者等が直接手の触れられない陳列設備に陳列しなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

問 1 1 8

以下のうち、店舗販売業者が要指導医薬品又は第一類医薬品を販売したとき、必ず書面に記載し、2 年間保存しなければならない事項として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 数量
- 2 販売した日時
- 3 情報提供を行った薬剤師の氏名
- 4 販売した薬剤師の氏名
- 5 購入者の連絡先

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

医薬品の販売広告及び販売方法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 商品名を連呼する音声広告等、医薬品が不必要な人にまで使用を促したり、安易な使用を促したりするおそれがあるものについては、保健衛生上の観点から必要な監視指導が行われている。

イ 医師が推薦している旨の広告については、事実に基づくものであれば認められている。

ウ 医薬品と他の物品（救急絆創膏^{ばんこう}、ガーゼ等）を組み合わせる販売又は授与する場合は、組み合わせた医薬品について、購入者等に対して情報提供を十分に行える程度の範囲内であり、かつ、組み合わせることに合理性が認められるものでなければならない。

エ キャラクターグッズ等の景品類を提供して医薬品を販売することは、不当景品類及び不当表示防止法（昭和37年法律第134号）の限度内であれば認められている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 2 0

一般の生活者からの医薬品の苦情及び相談並びに行政庁による監視指導に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

ア 医薬品の販売関係の業界団体・職能団体においては、一般用医薬品の販売等に関する苦情を含めた様々な相談を購入者等から受け付ける窓口を設置し、業界内における自主的なチェックと自浄的是正を図る取り組みがなされている。

イ 独立行政法人国民生活センターは、寄せられた苦情等の内容から、薬事に関する法令への違反、不遵守につながる情報が見出された場合に、行政庁とともに立入検査等によって事実関係を確認のうえ、必要な指導、処分等を行っている。

ウ 消費者団体等の民間団体は、一般の生活者からの苦情等が寄せられるが、生活者に代わって行政庁への通報を行うことはできない。

エ 行政庁の監視指導において、行政庁が命ずる薬事監視員の質問に、薬剤師や登録販売者が正当な理由なく答弁しなかったり、虚偽の答弁を行ったりした場合には、罰則が定められている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤